

第 1 5 3 回簿記検定試験
3 級 出題の意図

[第 1 問]

(出題の意図)

1. 費用処理していた収入印紙、郵便切手を貯蔵品勘定に振り替えることができるかを問う問題です。収入印紙、郵便切手をどういった費用勘定で処理していたかを適切に判断することが大切です。
2. 健康保険料は、会社が負担する部分と、従業員が負担する部分とに分かれます。従業員が負担する部分は、一旦会社が従業員から預かった形で処理していますが、それを受けて企業が納付した時に適切な勘定を用いて処理できるかが問われます。
3. 手付金を受け取っていた時の売上の処理の仕方を問う問題です。先方負担の発送費もありますので、売掛金の金額の算定に注意することが必要です。
4. 借入金の返済の問題ですが、利息の金額を適切に計算できるかが重要です。日割りで注意して計算すれば正解を導き出せます。
5. 証ひょうから取引の内容を理解し、適切な仕訳を導き出すことができるかを問う、今年度からの新しい形式の出題となります。2つの付随費用が取得原価に含まれることになります。

[第 2 問]

(出題の意図)

経過勘定の再振替仕訳、決算整理仕訳とその勘定への転記が適切にできるかどうかを問う問題です。前期から繰り越される勘定は基本的に貸借対照表に計上される勘定となります。損益計算書に計上される勘定は、次期に繰り越されません。また、2種類の物件に対する家賃の受け取りを適切に処理する必要があります。物件Aは半年分、物件Bは1年分を受け取っていること、物件Aの家賃が途中から変更されている点に注意します。

[第 3 問]

(出題の意図)

取引を集計して残高試算表を作成する、第3問では一般的な問題です。試験場で焦って合計試算表を作成しないように注意が必要です。

本問には今年度の3級から新しく範囲に含まれた論点として、剰余金の配当

と利益準備金の積立て（11月7日）、電子記録債権（8日、15日）、法人税（30日）の3つがあります。このうち、配当等について「臨時で株主総会」となっているのは、3月決算企業においては定時総会が6月までに実施されることや、比較的小規模な株式会社では親族が株主兼役員である（もしくは株主が1人しかいない）ことが多く、株主総会の開催が容易なことを考慮しています。定時総会と臨時総会で特に仕訳の違いはありません。利益準備金に関して、大規模な会社と比べて小規模な会社では資本金に対する資本準備金（2級の範囲）の割合が相対的に小さく、配当時に利益準備金の積立てが必要になるケースが多いと思われるため、今年度より3級の出題範囲に含まれています。

電子記録債権については、小切手や手形と比べると、まだ取扱量が多くありません。しかし、一部の銀行で手形帳や小切手帳の交付手数料を引き上げる動きもみられ、今後は利用が増えるとも考えられます。

法人税は、規模に関わらず会社に課せられる税金であるため、株式会社会計の学習において必須の論点です。中間納付、決算整理、確定申告による納付の流れについて、しっかり身につけておく必要があります。

[第4問]

（出題の意図）

過去にもよく出題されている商品有高帳の問題です。問1では、移動平均法に基づいて商品有高帳を作成する力を問いました。返品を受入欄に記入する点に注意が必要です。

問2では、返品がある場合、資料から純売上高、そして売上原価を適切に計算できるかどうか問われます。売上総利益の算定は、損益計算書を作成する上でも大変重要です。過去問などを通して理解を深めてください。

[第5問]

（出題の意図）

本問は、精算表の作成と、それに付随する問題です。

問1は、精算表の作成に関する問題であり、決算に関する基本的な知識や処理能力を問いました。修正事項の多くは、過去に何度も出題された項目です。必要な修正仕訳を修正記入欄に書き、残高試算表の金額と修正記入の金額を加減した結果を、貸借対照表または損益計算書の借方または貸方に記入し、貸借差額で当期純利益を求めます。

④は新範囲の決算整理事項であり、当座預金勘定の貸方残高から当座借越勘

定への振替処理を問いました。⑤の貸倒引当金の設定については、①の修正を反映させた売掛金の期末残高を用いる必要があります。⑦の減価償却については、期中に購入した備品の減価償却費を月割計算できるかを問いました。⑧については、「借入金に関して、当期にすでに発生している利息」という文言から、未収・未払・前受・前払のいずれになるかを判断する必要があります。

問2は、「帳簿価額」の意味を問いました。有形固定資産の分野では、取得原価と帳簿価額、減価償却費と減価償却累計額といった類似用語がありますので、これらの相違を理解する必要があります。有形固定資産の売却損益を求める際にも、帳簿価額は必要ですので、しっかり学習しておいてください（2級以降でも、帳簿価額の考え方は重要です）。